大分県行財政改革推進計画2024

～デジタルの力を活用した「社会変革」の実現に向けて～

Oita Prefectural Government
大分県

『大分県行財政改革推進計画2024
～デジタルの力を活用した「社会変革」の実現に向けて～』の策定にあたって

2024年９月
大分県知事　佐藤 樹一郎

本県では、2002年（平成14年）からの「三位一体の改革」等に伴う財政危機以降、累次の行財政改革計画に基づき、聖域なき行財政改革に取り組み、着実に成果を挙げてきました。

一方で、今後2050年にかけて急速に少子高齢化・人口減少が進行することで、官民双方の担い手不足が深刻化し、地域社会をいかに維持していくかが大きな課題として懸念されています。

こうした中、「安心」「元気」「未来創造」の大分県を実現していくためには、持続可能で安定的な財政基盤の確保が不可欠であり、これからも行財政改革の手を緩めることはできません。
また、社会構造の変化やデジタル技術の進展を踏まえ、行政の効率化や県民サービスの向上を目指して「行政の質の改革」を図っていくことも重要です。

このため、「大分県行財政改革推進計画2024」では、新たに策定した「安心・元気・未来創造ビジョン2024」の県政運営を支える行財政基盤を構築するため、これまでの取組をさらに前進させることで健全財政を堅持していくとともに、デジタルや先端技術の力を最大限に活用することで、社会変革に向けた取組を加速度的に推進していきます。

計画の策定にあたっては、県議会をはじめ、民間の有識者や県民の皆様から多様なご意見・ご提言をいただき、その趣旨も反映したところです。
今後、全職員が一丸となって本計画に掲げた取組を着実に実行することによりデジタル社会への変革を実現し、持続可能で質の高い公共サービス等の維持・向上と安定的な財政基盤の確保を目指してまいりたいと考えていますので、県民の皆様のご理解、ご協力をお願いします。

目　次

第１章　新たな行財政改革の基本的な考え方……P1
１．新たな行財政改革の基本的な考え方……P2
（１）これまでの行財政改革の取組と成果……P2
（２）今後見込まれる社会の変化……P3
（３）新たな行財政改革の推進……P4
２．計画期間……P4
第２章　具体的な取組……P5
１．県民目線に立ったデジタル社会の実現……P6
（１）ＤＸの加速化と先端技術の活用……P7
① 県民サービス向上に資する業務の効率化・高度化……P7
② デジタルデバイド解消に向けた取組……P12
（２）行政におけるＤＸ人材の確保・育成と環境整備……P13
① ＤＸ人材の確保・育成……P13
② オープンデータの環境整備と利活用促進……P14
③ デジタルインフラの効果的な運営及び活用……P15
２．連携・協働による公共サービス等の維持・向上……P16
（１）市町村連携等による広域課題の解決と効率化……P17
① 水道……P17
② 下水道……P18
③ その他行政サービスの広域連携・標準化……P19
（２）多様な主体との連携・協働……P20
３．社会資本・公共施設の老朽化への対応……P22
（１）長寿命化・予防保全の推進……P23
（２）市町村のインフラ維持管理業務の支援……P24
（３）県有建築物の有効活用・民間活力の活用……P25
４．社会保障関係費の増加への対応……P26
（１）医療費適正化と地域医療構想の更なる推進……P27
① データヘルスの推進……P27
② 健康寿命の延伸……P28
③ 在宅医療・地域医療構想の推進……P29
（２）介護予防・自立支援と高齢者の活躍推進……P30
① 介護予防……P30
② 自立支援・重度化防止……P31
③ 高齢者の活躍・就労促進・社会参加……P32
５．職員人材の確保・育成と働き方改革の推進、安定的な財政基盤の確保…P33
（１）職員人材の確保・育成……P34
① 戦略的な人材確保……P34
② 人材の育成……P35
（２）働き方改革の推進……P36
（３）事業の選択と集中等による安定的な財政基盤の確保……P37